

# ユーラシアンホットライン

## 日本はアジアの一員 「アジアから見える日本」を引き続き模索します - 大野遼

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、本当にみなさまに支えられて活動できた年でした。

またユーラシアンクラブの性格や活動の方向を、「日本人クラブからの脱皮」「地域拠点型への転換」「情報通信ネットワーク機能の模索」を掲げて活動を転換したことが少しずつ実ってきていると実感できた年でした。

またなんといっても昨年の東日本を襲った大地震と巨大な津波、そして原発のメルトダウンに、私は、亡くなった方々、ふるさとを町ぐるみ失った人の気持ちに寄り添わずには日本でこれから生きていけないと感じました。私に出来ることをと考へ、炊き出しも行なった他、橋本岳人山(尺八)にお願いし、海と向き合い生きる人の再生を激励する創作曲「2011 年 3 月 11 日 絆」を 8 月 12 日神奈川県愛川町で開催した「アジア・シルクロード音楽フェスティバル 絆 伝統の継承とアジアの系譜」で紹介し大きな感動を伝えることができました。この曲を演奏する機会をどのようにつくるか模索した結果、何度か宮城県に脚を運び、大河原町のえずこホールの水戸雅彦所長、玉淵博之マネージャー及び石巻市出身のユーラシアンクラブの仲間大谷龍雄さん、6 月から毎週金曜から日曜日にかけて石巻市の牡鹿半島の十八成浜で延べ 1000 人を超えるボランティアの力で瓦礫撤去や炊き出しを続けている名古屋市の「東日本大地震被災者応援 愛知ボランティアセンター」の後藤文吾さんや音楽を通じた復興支援を計画している遠藤信和さん、石巻市で被災直後から壁新聞を発行して情報を発信し続けた石巻日日新聞社の近江弘一社長らの協力、南三陸町、石巻市の中学、高等学校、等での慰問や合奏、激励コンサートを実施する方向で検討しています。人事を超えた自然の営みに向き合うことがこれからの世界観に重要な意味を持つと今、考えています。私のできることはささやかですが、これからどうしたらいいのかがよく考えながら活動していきたいと思えます。

これまで私の訴えをご理解いただき、力をいただいた皆様に心からお礼を申し上げます。特にユーラシアンクラブ、愛川サライにボランティア協力くださった皆さん、モンゴル・プフ・クラブ、イーグル・アフガン復興協会、カムイミントラ、東京アイヌ協会、日本ウェルネススポーツ専門学校の皆さん、イラン、ネパール、ウイグル、モンゴルのミュージシャンや仲間の皆さん初め東日本大地震被災者支援のご寄付にご協力をいただいた皆さんに感謝申し上げます。

ありがとうございます。

昨年は、クラブとしては「アジアが見える」を基本にしながら、あえて「アジアから見える」を目標にしてきました。いわばこの意識革命が必要な時であることをますます強く感じています。

今年は、アジアの一員として活動する仲間が一人でも増えるよう

に努力する決意です。

一昨年から愛川町で続けてきた「アジアの未来を子どもに託すプロジェクト」は今年をひとつの節目にしようと考えています。一定の目標に達したことで、愛川町の現状を踏まえて、活動方法の再考が必要と判断したためです。

今後の活動予定をご紹介します。

地域拠点型活動

日本橋 中央区文化振興基金助成申請で 19 日にプレゼンテーション

;日本橋は、江戸・東京で最初に架設された首都東京の中心であり、江戸時代の五街道、明治以降 1 号線、4 号線、17 号線、甲州街道、など主要国道の基点(起点・終点)としてあるだけでなく、時空を超えてアジアと深くつながる音楽のシルクロードの終着駅として、アジアと芸術でつながる文化の町を目指す「アジアの絆 日本橋三味線文化再生プロジェクト」を中央区文化振興基金に事業助成を申請していました。昨年暮れ、中央区より、第一次審査を経たので第二次審査を行なうので 1 月 19 日夕方プレゼンテーションを行なうとの通知がありました。まだ助成が確定したわけではありませんが、中央区にふさわしい事業として興味を持っていただいたと受け止めています。プロジェクトの内容は、「日本独自の地域的伝統文化」と考えられることの強かった三味線文化を、時空を超えた音楽のシルクロードの終着駅・江戸・東京におけるアジアの音楽史の最後の姿と捉えることで、三味線文化清元をアジアの音楽文化の一部として見直し、三味線を弾いて清元を歌う文化を普及するとともに、アジアの兄弟楽器との共演によって、新しい視点でアジアとの音楽文化の交流を図ろうとするもので、クラブが法人移転した中央区日本橋室町一丁目の「ポラーノ広場」で年間を通して「清元教室」を開講し、その成果を日本橋劇場で開催する「アジア・シルクロード音楽フェスティバル」で発表するという計画。日本橋でのさまざまなアジアの音楽発信の企画も今後実施したいと考えています。

愛川町 2 月に小学校 2 校で音楽鑑賞教室

;愛川町では、2 月 1 日、愛川町立中津小学校、田代小学校でモンゴル国の馬頭琴奏者アヨーシ・バトエルデネさん(国際馬頭琴協会理事長)による音楽鑑賞教室を開催して、音楽文化を通してアジア

が見える子どもを育成する「アジアの未来を子どもに託すプロジェクト(アジア未来プロジェクト)」が終了します。愛川町行政推進課、観光課、地域の小中高 11 校、地域の青少年育成会、区長会、愛川町観光協会、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団、愛川町のボランティアや団体関係者の協力、昨年在り二千余人、今年が 1 千五百人を超える町民や子どもたちにイベントに参加していただきました。この中で、愛川町を住民の手で活性化したいという機運も盛り上がり昨年「まちづくりネットワーク中津川」が 7 団体、有志が参加する形で発足、新たな活動を模索



しています。愛川町でのプロジェクトは、愛川町町民活動応援事業の一つとして支援を受けながら活動し、今年で 3 年目を迎えます。今年には特に、「愛川町音楽祭」としても位置づけ実施してきた「アジア・シルクロード音楽フェスティバル」を、新しい視点で、より愛川町らしい事業として展開することを構想しています。具体的には、三増獅子舞、活発な夏祭り、和太鼓演奏文化など笛や太鼓という日本の地域文化が色濃く伝えられる愛川町にはもうひとつ、町民が普通に俳句を詠むという近世以来の文化の土壌がありかつて神奈川県「県下俳壇の一大メッカ」とも呼ばれていました。現実感重視の現代俳句の伝統を生かして子供たちの表現力を高めようという活動も愛川町にある。今年度の音楽フェスティバルは、「笛と太鼓」を基軸にしなが、子供たちの俳句を募集し曲をつけて演奏するという「伝統の創造」へ一歩踏み出した活動を目指したいと考えている。また全国的にも例のない「地下の洞窟」(カレーズ)を歩いて弁才天(アナーヒター)が姿を現したという古い宗教伝説(愛川町文化財保護委員会調査)のあることを踏まえ、四季折々の「中津川弁才天音楽キャラバン」といった実施可能な創造的音楽文化運動を展開したいと希望している。

#### 東日本大地震復興激励音楽キャラバン

東日本被災者支援 昨年、4 回にわたり被災地を訪ね、チャリティ音楽祭でもあった 8 月 12 日の「アジア・シルクロード音楽フェスティバル 第 2 回愛川町音楽祭 アジアの絆 伝統の継承とアジアの系譜」に参加した日本やアジアの最高峰のミュージシャンと 3 月 10 日から 14 日まで、宮城県大河原町のえずこホールの水戸雅彦所長や愛知県名古屋市のボランティア団体や住所を石巻市に移転してまで復興支援に取り組む後藤文吾さん、音楽の持つ癒しの力で被災者を支援しようと活動する遠藤信和さんと協力して宮城県南三陸町、石巻市を訪ね、仮設住宅で暮らす人や中学、高校の吹奏楽部の生徒、後藤さんが瓦礫撤去や炊き出しに取り組んできた十八成浜の住民らを対象に、慰問や合奏、復興激励を目的にした音楽コンサートを行ないたいと考えています。そのためには昨年のチャリティコンサートの募金 10 万余円以外に、新たにチャリティコンサートを実施するなどして必要な財源 15 万円を確保しなければなりません。

せん。これから何年も続く、暮らしの再生を少しでも励ますことができるように、近々、現地を訪ね打ち合わせをしてきます。

#### 日本ウズベキスタン国交 20 周年記念音楽フェスティバル

今年はウズベキスタンが日ソ連から独立し、日本と国交を結んでから今年で 20 年の節目となります。一昨年 11 月、加藤九祚先生が 88 歳の米寿となり、かつウズベキスタンでの仏教遺跡の発掘が 20 年となった節目に、アフガニスタンとの国境の町テルメズ、首都タシケント、シルクロードの有名な都市だったサマルカンドで音楽コンサートを実施し、現地で大変好評でした。こうしたことを踏まえて、昨年秋、在ウズベキスタン日本大使館から、この国交 20 周年を記念して今年も音楽フェスティバルを開催してほしいとの要望を受けました。私は加藤先生やミュージシャンとも相談した上で、9 月 5 日から 12 日まで工夫のある音楽フェスティバルを開催することにしました。一昨年、加藤先生と一緒にテルメズのカラテバ遺跡を訪ねたネパールのパンスリ奏者パンチャラマは昨年カラテバ遺跡を訪ねた体験から、「悠久の都」という曲をつくっており、橋本岳人山の作曲を初めウズベキスタンで初めて紹介する曲を含めたプログラムの企画も練っています。またサマルカンドではぜひレギスタン広場での音楽祭を実現したいと希望しています。今年は、昨年わざわざブラハからサマルカンドまで来て一緒に合奏してくれた 10 人のブラハの音楽仲間とも現地ブラハで音楽祭を実現したいとも考えています。2 月から募集にかかります。ぜひご期待下さい。

今後具体的な活動計画が固まり次第、ニュースレターやブログでお知らせします。今年もどうぞよろしくお願いたします。

#### 復興激励コンサート実施のためご寄付をお願いしています。

(寄付金の振込先、私の連絡先)

住所：〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1 NPO ユーラシアンクラブ・愛川サライ  
口座：相愛信用組合中津支店 普通 0128190 NPO ユーラシアンクラブ 愛川サライ  
連絡先：046-285-4895 (TEL/FAX)  
[paf02266@nifty.ne.jp](mailto:paf02266@nifty.ne.jp) 090-3814-5322(大野遼)

## <バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第 111 回研究会のご案内>

日時：2012 年 1 月 25 日(水) 18:30~20:30  
テーマ：「スウェーデンのバイオガス利用の秘訣~日本とどこが違うのか~」講演者：レーナ・リンダールさん(持続可能なスウェーデン協会・日本代表) 会場：地球環境パートナーシッププラザ

(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

ヨーロッパでも最もバイオマス利用を進めているスウェーデンでは、メタンガスの利用も積極的に進んでいます。

例えば人口 13 万人のヘルシンボルク市では、周辺の 6 つの自治体共同で廃棄物処理・エネルギー業を行う公社を保有し、家畜糞尿、食品廃棄物、一般廃棄物の生ごみなどを原料にメタンガス生産を行い、暖房用熱源や車両燃料として利用しています。

スウェーデンでは 2012 年までに 3TWh 以上のバイオガス生産を行うと予測されています。

日本でも各地にメタンガス生産施設が建設されていますが、メタンガス利用事業は、あまりうまくいっていないケースが多く見られます。

第 110 回研究会では、スウェーデンの環境事情に詳しい、持続可能なスウェーデン協会・日本代表のレーナ・リンダールさんに、スウェーデンのバイオマス利用、特にバイオガスの取り組みはどのように軌道に乗せたのかについて、お話いただきます。

スウェーデンの事例を参考にしながら、日本でのメタンガス利用をどう行っていくのがよいか、参加者の皆様とともにディスカッションできれば幸いです。講演は日本語です。

参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>



シンポジウム「海外農地投資（ランドラッシュ）の現状とバイオマスの持続可能な利用 ~日本は今後、どう対応すべきか~」開催のご案内

近年、ランドラッシュあるいはランドグラビングと呼ばれる海外土地投資の問題が、世界的に大きくクローズアップされています。このランドラッシュの 2 割程度は、バイオ燃料作物を対象としてい

ると言われています。この現状を把握し、世界の持続可能な農林業

の発展に資する形で（日本の）バイオマス利用を推進するには、どのような点に注意して対応すべきかについて議論し、今後の日本の

関わりをより持続可能性なものにする一助とすることを目的に、シン

ポジウムを開催いたします。

日時：2012 年 1 月 18 日（水）13:30~17:00

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102

（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）小田急線参宮橋駅より徒歩 7 分

<http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>

主催：NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク、財団法人地球

・人間環境フォーラム、国際環境 NGO FoE Japan

参加費：主催団体会員 無料、一般 1,000 円

プログラム：<基調講演>「海外農地投資の現状と持続可能な農林業

の発展のため国際社会がなすべきこと」ソフィア・モンサルベ・

スアレズ氏 Sofia Monsalve SuarezFIAN ( Fighting hunger with human rights ) インターナショナル プログラム・コーディネーター「農林業における持続可能性と現在進行する大規模土地集積の問題点」池上甲一氏( 近畿大学農学部教授 )「日本企業が関わるフィリピンのエタノール生産事業事例の紹介」波多江秀枝( 国際関係 NGO FoE Japan 委託研究員 )ドミエ・ヤダオ氏( カガヤン・バレー地方農民連合 地方評議会メンバー ) ( 通訳：波多江秀枝 )

<パネルディスカッション>

「海外農地投資（ランドラッシュ）の現状とバイオマスの持続可能な利用 ~日本は今後、どう対応すべきか~」ソフィア・モンサルベ・スアレズ氏池上甲一氏( 外務省経済局経済安全保障課課長補佐 ) 岩間哲士氏( 経産省資源エネルギー庁資源・燃料部政策課課長補佐 ) 渡辺信彦氏満田夏花( 国際環境 NGO FoE Japan 理事 )司会：NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長 泊みゆき

日英同時通訳がつきます。

出演者が一部変更になる可能性があります。

本事業は、三井物産環境基金の助成を受けて実施します。

参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

## 【マレーシア通信 3 号】マレーシアから見えるアジア とあるマレー人の『いただきます』

板坂 優一

先日、私は学校でマレー系女性教師（28 歳）と雑談をしていました。ちょっとした会話から、彼女に一日何回礼拝するのかという質問をしました。その時にイスラムである彼女の価値観に関するとても興味深い話を聞く事ができました。

彼女は敬虔なムスリマであり、彼女は一日 5 回の食事際に礼拝を欠かさずします。イスラムでは一日 5 回、礼拝をしなければなりません。しかし忙しい場合は必ずしも一日 5 回する必要はないようです。私はまず彼女は 1 日 5 回の食事に驚きました。彼女は大食いなのでしょうか？いや、そんな分けありません。マレーシア人は一度の食事に沢山食べない為、何度かに分けて食べるらしいです。それよりもなぜ食事の時に礼拝をするのでしょうか？もしかしたら休憩時間のついでにと言う単純な理由でしょうか？彼女曰く、食事をする事は身体を維持す

ず。食事をしなければ身体も魂も維持する事に感謝し、神様の存在を意識するのですと言っており、皆がそうとは限りません。

私はこれを聞いて日本の『いただきます』を神様に対する具体的な感謝の気持ちがある事とた。彼女が食事の際に礼拝をすると言う事は、間になっているからではないでしょうか？食べ身近過ぎてその事が当たり前感じてしまい気持ちを忘れない様にする事に私はすばらしい



写真：私とマレー人教師

私にとってムスリム達になにを思って生活し、と日本に共通するかもしれない『いただきます』彼らの謎を解き明かす一つの糸口を見つけたよる以上、何かを得た、与えた、あるいは失った等の時に強い気持ちが現れると思います。そこにイスラムの人々は神様の存在を強く意識し、祈りを捧げるのではないのでしょうか。

る為だけで無く、魂を維持する為でもありません。だから食事が出来る事や食べ物ていました。この事はあくまでも彼女の意見

思い出しました。イスラムである彼女の中に、日本に似た習慣に驚きと親近感を持ちまし彼女の中で食事が神様へ一番感謝できる瞬間は私達に一番身近な行為であります。しかし彼女はその時に礼拝する事でその

礼拝するのかとても謎です。しかしイスラム

的発想は私にとって、とても衝撃的であり、うな気分でした。また、彼女の様に人間である

## メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ 中村幸司 菅野陽

### [北アジア (含むロシア)]

ユーラシアの経済統合に向けて 20.12.2011, 「Voice Of Russia」

世界地図に新たな経済統合体が誕生した。メドヴェージェフ大統領、ベラルーシのルカシエンコ大統領、カザフスタンのナザルバエフ大統領は、3カ国領内の統一経済空間を規定するひとまとまりの文書に署名し、これにより3カ国は、より密接な統合に向けての意欲を確認した。

ロシア・ベラルーシ・カザフ3カ国はすでに、今年7月に効力を発した関税同盟により統合されている。関税障壁を取り除くことで、3国は統一市場を作り出した。その結果、互いの貿易取引高は、三分の一増加した。来年1月1日よりその効力を発する統一経済圏のおかげで、商品ばかりでなくサービスや資本、労働力の自由な流通にとって好ましい諸条件が創り出されるだろう。

3国内の経済政策を調整し、外からの挑戦に対応する事になるのは3国すべての代表がメンバーとなるユーラシア経済委員会だ。(中略)メドヴェージェフ大統領は、さらに「共同体が新たな加盟国に扉を開いている」点を強調した。

新加盟国としてまず名前が挙がるのは、C I S(独立国家共同体)諸国やユーラシア経済共同体諸国だ。具体的には、キルギス、タジキスタン、又オプザーバー国であるアルメニア、モルドワ、ウクライナといった国々である。

<http://japanese.ruvr.ru/2011/12/20/62560378.html>

ロシア全土に反政府デモ拡大、ソ連崩壊後で最大規模 2011 年 12 月 11 日 [ロイター]

ロシアのプーチン首相の退陣や4日に行われた下院選のやり直しなどを求めたデモが10日、同国各地で行われ、警察によると、首都モスクワでは約2万5000人が集結した。デモの主催者らは、参加者は最大で15万人に及ぶとしている。1991年のソ連崩壊後、最大規模のデモに発展した。モスクワでは時折ヘリコプターが上空を飛ぶ中、あらゆる年代の市民が、抗議のシンボルである白いカーネーションを手にもってデモに参加。中にはプーチン首相とメドベージェフ

### [西アジア]

無人偵察機、イランの手に=国防総省は撃墜説を否定 - 米報道

【ワシントン時事】米FOXテレビは5日、イランが同国東部で撃墜、押収したと発表した米軍の無人偵察機RQ170について、既にイランの手に渡っていると複数の米軍関係者が確認したと報じた。これに関し国防総省のカービー広報官は記者団に、無人偵察機が行方不明になった事実を認めつつ、「攻撃を受けて墜落した証拠はない」として、撃墜したとの主張には否定的な見解を示した。

RQ170は高度のステルス性能を備える。中国など第三国に機密情報が流出する可能性もあり、同広報官は「米軍機が回収不能な場所に落ちることについては常に懸念している」と語った。[時事通信] 2011年12月6日

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011120600139> より

イラン ホルムズ海峡で軍事演習

イランは中東からの原油の主要な輸送路であるペルシャ湾のホルムズ海峡を含む海域で大規模な軍事演習を始め、対立が深まる欧米諸国を強くけん制するねらいがあるものとみられます。

プーチン大統領の写真を掲げて「お前たちはもう去る時が来た」とメッセージを送る者や「プーチンは盗人だ」などと叫ぶ者もいた。クレムリン付近では少なくとも100台の機動隊車両が待機したり、警察の車列が首都周辺をパトロールしたりするなど、物々しい雰囲気の中、デモは行われた。野党指導者の1人であるウラジーミル・ルイシコフ氏は、不正があったとする下院選のやり直しや選挙管理委員会トップの解任、政治犯の釈放などを求めた。同氏は集まった市民らに対し「ロシアは今日変わる。未来が変わる」と語り、24日のデモにも参加するよう呼び掛けた。

交流サイト(SNS)の呼び掛けなどに呼応し、デモはモスクワ以外でも極東部ウラジオストクや第2の都市サンクトペテルブルクなど10都市以上に拡大。サンクトペテルブルクでは、目撃者らによると約1万人が参加した。この日行われたデモの大半は暴徒化を防ぐために市当局から許可が下りていたが、同国の通信社などによると、許可なく行われたデモの中には拘束者も出ているという。

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE7BA00D20111211>

「日本までのトンネル検討」=サハリン架橋計画で言及 - ロシア首相

【モスクワ時事】ロシアのプーチン首相は15日、大統領選を控えて国民と行ったテレビ会見で、極東のタタール海峡(間宮海峡)に架橋して本土からサハリンへ鉄道を通す計画に関し「(サハリンから)日本までトンネルを建設することも可能で、われわれは検討中だ」と語った。

サハリンへの架橋は経済面で「重要な計画」と指摘。その上で、計画は「シベリア鉄道を日本の貨物で満載することにつながる」と期待感を示し、日ロ間をトンネルでつなげる構想に言及した。ただ、外交筋は「日ロ政府間で検討している事実はない」としている。[時事通信] 2011年12月16日

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011121600016> より

イラン海軍は、24日から10日間の日程で、ペルシャ湾のホルムズ海峡の東部からインド洋の北部にかけての海域で、艦艇やヘリコプターなどが参加し、新型ミサイルや魚雷の発射などの軍事演習を始めたと発表しました。イランを巡っては、欧米諸国が核開発問題に対し経済制裁を強化しているほか、敵対するイスラエルは軍事攻撃も排除しない姿勢を示しています。これに対しイラン側では、日本向けのタンカーのおよそ9割が通過するなど、原油の主要な輸送路であるホルムズ海峡の封鎖も念頭に入れた発言が一部で出るなど、緊張が高まっています。演習に先立ってイラン海軍の司令官は、海峡の封鎖を目的としたものではないとする一方で、「われわれは、ホルムズ海峡を封鎖する能力を持っている」と述べるなど、軍の力を誇示しようとしています。欧米諸国はイランからの原油の禁輸など、さらなる制裁の強化で動いており、今回の軍事演習はこうした欧米からの圧力を強くけん制するねらいがあるものとみられます。

[NHK News Web] 2011年12月25日

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20111225/t10014887371000.html>



[ml](#) より

**核開発疑惑で制裁のイラン、国際社会の「のけ者」に = 米高官** 2011 年 12 月 6 日 [ロイター]

米政権でイランへの制裁を担当するアインホーン調整官は 5 日、イランの核開発計画に対する懸念が拡大していると述べ、早急な外交的解決が必要だと強調した。アインホーン調整官は訪問先の韓国ソウルで、「イランは国際的な義務や基準に違反しており、国際社会の『のけ者』になりつつある」と批判。同国の核開発をめぐる問題は以前にも増して憂慮すべき状況であるとし、緊急に厳しい措置を取ることが重要だと指摘した。

西側諸国は、イランが核爆弾製造を模索しており、秘密裏に研究を続けていると示唆した国際原子力機関 ( I A E A ) の報告書公表を受け、イランへの制裁強化に踏み切っている。イランは核兵器の開発計画を否定している。米国とイスラエルは、イランの核開発をめぐる問題が外交的手段によって解決できなかった場合、同国への軍事攻撃の可能性を排除しないとしている。

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPTYE7B406V20111205>

**イランの核兵器保有を阻止 = イスラエル防衛に決意 - 米大統領** 【ワシントン時事】オバマ米大統領は 16 日、ユダヤ系団体の会合で、イスラエル防衛に関与する米国の決意を改めて表明する一方、「イランの核兵器獲得を阻止する」と述べた。

大統領は「われわれ以上にイスラエルの安保に関与した米政権はほかにない」と言明。パレスチナによる国連加盟を通じた国家承認の動きに関し、「国際機関を使ってイスラエルの合法性を否定する試みに反対する」と断言した。[時事通信] 2011 年 12 月 17 日

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011121700115> より

**露大統領 カスピ海の安全保障合意批准に関する連邦法に署名**  
メドヴェージェフ大統領は「カスピ海の安全保障領域における協力についての合意批准」に関する連邦法に署名した。5 日インター

#### [中央アジア]

**カザフ石油労働者の暴動死者 15 人に、大統領が非常事態宣言** 2011 年 12 月 19 日 [ロイター]

中央アジア・カザフスタン西部のマンガスタウ州で 18 日、石油労働者らと治安当局の間で衝突が発生した。

同州では 16 日に石油都市ジャナオゼンで国営石油企業の従業員解雇に端を発した暴動が起こり、これまでに計 15 人が死亡、約 100 人が負傷した。

今回の抗議デモは、20 年前の旧ソ連からの独立後では最大規模で、ナザルバエフ大統領はジャナオゼンに 20 日間の非常事態を宣言。検察当局によると、同市の暴動による死者は 14 人に達し、17 日にも別の村で 1 人が死亡したという。ただ、発表された死者数にはデモ参加者の多くが疑問を呈しており、実際はそれよりも多い可能性がある。病院の医師は、搬送されて来る人の多くは銃で撃たれてけがをしていると明かした。

18 日朝には、マンガスタウ州の州都アクタウで約 500 人のデモ隊が集結。58 歳の男性は、20 年間働いた石油会社を 5 月に解雇されたなどと話した。

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE7BI01R20111219>

**強姦被害で服役のアフガン女性、恩赦から 2 週間で釈放** 2011 年

ファクスが大統領府報道部の情報を引用して伝えた。

この連邦法は、下院では 1 月 18 日、上院では 25 日にすでに批准されている。カスピ海の安全保障領域における協力合意は、昨年 2010 年 1 月 18 日アゼルバイジャンの首都バクーで行われた第 3 回カスピ海沿岸諸国サミットで、ロシア、アゼルバイジャン、イラン、カザフスタン、トルクメニスタン 5 カ国の大統領により調印された。

合意には、ロシアの国益という視点から見て原則的に重要な条項、つまりカスピ海の安全保障は沿岸諸国の大権、特別な権利であるとする条項が含まれている。この文書は、いわゆる枠組み合意で、様々な種類の犯罪撲滅に向けた沿岸諸国所轄官庁の協力によって法的基盤を作りだすものだ。又文書は、船舶及びその航行の安全保障と海賊行為撲滅における協同行動を規定している。

なお合意書は、カスピ海は平和と安定と友好善隣の海であると謳っているが、カスピ海の法的地位は決めておらず、これに関しては個別交渉が続けられている。[ロシアの声] 2011 年 12 月 5 日

<http://japanese.ruvr.ru/2011/12/05/61577157.html> より

#### イラクがシリア和解決案提示

イラク政府のファラハ・ファイヤド国家安全保障担当顧問が 17 日、シリアのアサド政権と反体制派との衝突沈静化を図る和解決案を提示するため、首都ダマスカスを訪問した。フランス公共ラジオが伝えた。

一方、アラブ連盟高官は 17 日、シリア政府から「前向きな兆候」が得られたと述べ、シリア政府が近く、市民保護を目的とした監視団受け入れに応じるとの見解を示した。

アラブ連盟は 1 月下旬、経済面を中心とした広範な対シリア制裁の発動を決定したが、イラクは制裁参加に応じず、シリアと一定の関係性を維持している。(共同) [msn 産経] 2011 年 12 月 17 日

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111217/mds11121723220008-n1.htm> より

12 月 15 日 [ロイター]

アフガニスタンで強姦被害に遭った上、「倫理上の罪」にあたる姦通罪を適用されて服役していた女性が 13 日夜、刑務所から釈放された。女性の弁護士らが、カルザイ大統領に対して恩赦を求めた結果、1 日に恩赦が認められていた。グルナスさん (21) は 2009 年、彼女のいとこの夫にあたる男から強姦されて妊娠。裁判をへて、最終的に刑期は 3 年となったが、刑務所の中で子どもを育てることを余儀なくされていた。

アフガンでは婚姻関係のない者と性的関係を持つことは「倫理上の罪」とされており、強姦された場合も例外ではない。この他にも、暴力を振るう夫のもとから逃亡しても、罪に問われることになる。

弁護士によると、グルナスさんは現在、「安全な場所にいられて幸せを感じている」という。強姦の加害者の男は現在も服役している。また、13 日に弁護士が国会議員と話したところ、この 2 日間でグルナスさんと同じような境遇の女性のほとんどが刑務所から釈放されたことが分かったという。

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPTYE7BE04C20111215>

**【南アジア】**

**2011 年に殺害された記者は 66 人、パキスタンが最多 = R S F**

国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」(R S F)は 21 日、2011 年に世界で報道活動中に殺害されたジャーナリストが 66 人上ったと発表した。

国別ではパキスタンが 10 人と最も多く、2 年連続でジャーナリストにとって最も危険な国となった。民主化運動「アラブの春」が広がった中東では、昨年倍の 20 人が殺害された。また、麻薬組織による暴力犯罪がまん延しているメキシコなど中南米でも死者が出た。

2010 年に殺害されたジャーナリストは 57 人で、過去 10 年

で最悪の年はイラク戦争による影響で 87 人を記録した 2007 年だった。一方、拘束者は 1044 人で昨年からはほぼ倍増。「アラブの春」のほか、ギリシャやベラルーシ、ウガンダ、チリ、米国などで起こった抗議デモを取材中に拘束された。また正確な数字は明らかにされなかったが、R S F は中国、イラン、エリトリアで多くのジャーナリストが収監されているとした。

[ロイター] 2011 年 12 月 22 日

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPTYE7BL01K20111222> より

**【東南アジア】**

**カンボジア、タイが軍部隊撤収で合意 寺院周辺の国境紛争**

カンボジア、タイ両国政府は 22 日までに、領有権を争う国境近くの世界遺産「プレアピヒア寺院」周辺地域に配置する両国軍部隊を撤収させることで合意したと発表した。タイ国営の M C O T 通信が報じた。

(中略) 11 世紀に完成したとされる寺院本体はカンボジア領内に位置するが、寺院への接続通路のほとんどはタイ領内にある。タイは、カンボジアは旧宗主国フランスが作成した地図を基に寺院と周辺地域の領有権を主張していると反論している。

寺院周辺では両国の武力衝突も散発し、今年 2 月にも交戦が起き、少なくとも 20 人が死亡、住民数千人が避難する被害が出た。

国連は 2008 年、カンボジアの要請に応じ寺院を世界遺産に登録していた。この登録がタイの反発を招き、国境紛争を再燃させるきっかけとなっていた。[CNN] 2011 年 12 月 22 日

<http://www.cnn.co.jp/world/30005025.html> より

**タイ・ミャンマー間 国境の橋活気再び**

【ミャワディ(ミャンマー東部) = 杉谷剛】ミャンマーの旧軍事政権が昨年七月閉鎖した同国東部ミャワディとタイ北西部メソトに架かる「友好橋」が五日、民主化政策を進めるテイン・セイン政権によって再開された。

(中略)

テイン・セイン政権は二日、同国東部の少数民族シャンの反政府組織(シャン州軍)と停戦で合意し、国境交通を再開した。少数民族との和解は民主化政策の大きな焦点の一つになっている。

多日は一日千パーツ以上稼いだというモー・ワイさんは「ミャンマーは今はいよいよ、多くの国が助けを求めれば将来はよくなる」と期待を込めた。[東京新聞] 2011 年 12 月 7 日

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/world/news/CK2011120702000029.html>

**【東アジア】**

**世界一高地の空港誕生へ = 標高 4436 メートル - 中国チベット**

【北京時事】新華社電によると、中国政府はこのほど、チベット自治区のナクチュ(那曲)地区で、新空港を整備する方針を決めた。完成すれば標高 4436 メートルと、同自治区内のチャムド(昌都)空港を 102 メートル上回り、世界で最も高地に位置する空港となる。

整備費用は 18 億元(約 22.2 億円)で、3 年後の完成を目指す。

中国政府はここ数年、「西部大開発」の一環として、チベット自治区内で鉄道や道路、空港など、交通インフラの整備を急ピッチで進めている。ただ、利便性の向上に伴い、漢族の移民も大量に流入。地元住民はチベット固有の言語、文化習俗がのみ込まれかねない懸念を強めており、各地で暴動や抗議活動が頻発する原因の一つにもなっている。[時事通信] 2011 年 12 月 28 日

[http://www.jiji.com/jc/c?g=int\\_30&k=2011122800634](http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2011122800634) より

**河南省で 1 人っ子政策を緩和、中国内陸部すべてで緩和へ 2011/11/28(月) 【サーチナ】**

河南省人民大会常務委員会は 25 日、両親が 1 人っ子同士の家庭は、2 人目の子どもを生むことができる条例が可決されたことで、中国内陸部 31 のすべての省で、同政策が実施されることになった。中国国際放送局が報じた。

河南省人民大会常務委員会が 25 日に可決した『人口と生育計画条例』の修正決定によると、「河南省の家庭内で親の両方が『1 人っ

子』の場合、2 人目の子どもを希望する家庭は、申請許可があれば生むことができる。親の両方が農村住民の場合、1 人目が女の子で、2 人目の子どもを希望する場合は、申請許可があれば生むことができる」という。

すでに山東省、四川省など 27 の省、区、市は 1990 年代末から、同政策を実施しているほか、湖北省、甘肅省、内モンゴル自治区などでも 2002 年から実施されている。

[http://news.searchchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1128&f=politics\\_1128\\_003.shtml](http://news.searchchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1128&f=politics_1128_003.shtml)

**中国がトルクメニスタン産天然ガス輸入を拡大逆ざや解消が急務**

<中国証券報> 中国とトルクメニスタン政府はこのほど、中国への天然ガス輸出量を 250 億立方メートル増やし、年間 650 億立方メートルまで引き上げることに合意した。さらにカザフスタン、ウズベキスタンとも天然ガスの輸入協議を進めており、中央アジア 3 国からの総輸入量は 800 億立方メートルを超える見通しだ。28 日付中国証券報が伝えた。

中国は 2006 年から天然ガスの輸入を始め、10 年の輸入量は 166 億立方メートルで、対外依存度は 10% を超える。15 年末には対外依存度が 40% を超えるとの調査結果も出ていることから、安定した供給ルートの確保が急務だった。業界の専門家は、「中国の天然ガス多元化戦略がまた一歩前進した。ロシアとの天然ガス交渉にも有利に働くだらう」との見方を示す一方で、輸入量の増加に伴う天然ガス業界

の赤字拡大を懸念する。

中央アジア 3 国との協議の結果、天然ガスの輸入価格は 1 立方メートルあたり 2.6 元程度になる見通しだが、中国国内の卸売り価格は 1.15 元と定められている。毎年 800 億立方メートルを輸入するとなれば天然ガス業界が受ける損失は年間 1000 億元を超える計算で、業界関係者らは政府が早急に天然ガス需給の矛盾を解消し、価格体系を見直すよう求めている。(編集担当：浅野和孝) [サーチナ] 2011 年 11 月 29 日

[http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1129&f=business\\_1129\\_171.shtml](http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1129&f=business_1129_171.shtml) より

**新疆で大型炭鉱発見、中国の 10 年分の石炭需要満たす埋蔵量**  
2011/12/21(水) [サーチナ]

新疆ウイグル自治区の和布克賽爾蒙古自治県(ホボクサル・モンゴル自治県)は 15 日、炭鉱地質探査部門が現地でも推定埋蔵量 350 億トンの新炭鉱を発見したと発表した。2010 年の中国の石炭消費量 25 億 6000 万トンで計算すると、10 年分の中国の石炭需要を満たす規模となる。20 日付中国証券報が伝えた。

同自治区の第 5 炭鉱開発加工拠点である白楊河鉱区内で発見された。石炭の品種は低硫黄・高カロリー炭に属し、石炭化学工業向けに適する。実際の埋蔵量はさらに多い可能性もある。

新疆ウイグル自治区では近年、炭鉱開発熱が高まっており、多くの資本が押し寄せている。現在、同自治区の火力発電業や石炭化工産業に参入している企業は 104 社。大型炭鉱の発見はこれら企業にとっての新たな原料調達源となりそうだ。同自治区の石炭資源は少なくとも半分が国有の五大発電企業に独占されている。(編集担当：浅野和孝)

[http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1221&f=business\\_1221\\_054.shtml](http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1221&f=business_1221_054.shtml)

**成都の学生 3000 人が衝突 100 人けが**

【北京・工藤哲】中国四川省成都の鉄道工事の専門学校「成都鐵路工程学校」で 14 日夜、漢族とチベット族の学生計 3000 人余りが衝突し、約 100 人が負傷した。米政府系放送「ボイス・オブ・アメリカ」(VOA、中国語版)などが伝えた。

チベット族同士のけんかを漢族学生が仲裁しようとしたところ、チベット族学生 20 人に囲まれて殴られた。これに逆上した他の漢族学生らがチベット族学生宿舎を包囲。宿舎を破壊したうえ、駆けつけた地元警官とも衝突した。

学校では、少数民族であるチベット族の学生が学費や生活待遇、試験の採点で優遇されているとして漢族学生の不満がくすぶっており、こうした不満が漢族学生の殴打を受けて噴出したとみられる。

[毎日新聞] 2011 年 12 月 16 日

**白老に国立博物館 アイヌ民族 共生の象徴に**

政府は 22 日、胆振管内白老町に予定しているアイヌ民族の「民族共生の象徴となる空間」(共生空間)に国立博物館を設置する方針を固め、来年度予算案に調査費約 600 万円を計上することを内定した。これにより道内初の国立博物館が誕生することになる。

共生空間は、政府のアイヌ政策推進会議の作業部会が 6 月、候補

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111217k0000m030056000c.html> より

**エキゾチック美女勢ぞろい! 中国で「ミス少数民族」開催** 2011 年 11 月 25 日「ロケットニュース 24」

北はロシア、南は東南アジア、西は中央アジアに国境を接する中国は実に様々な民族がいる。人口の 94 パーセント以上を占める漢族のほかにも 55 もの少数民族がいるそうだ。

少数民族人口が多い内陸部の貴州省で「ミス少数民族大会」が開催された。中国全土から集まったエキゾチック美人 25 名が集結し美を競いあった。

「ミス少数民族大会」が行われたのは茅台酒で有名な中国内陸部貴州省貴陽市だ。参加したのはミャオ族、プイ族、トゥチャ族、満州族、回族、ペー族、チベット族、ウイグル族、イ族などの少数民族女性 25 名。民族衣装で並ぶとまるで中国の縮図そのものようだ。

平均年齢 21 才、平均身長 174 センチ。300 名を超えるエントリーの中から選ばれた選りすぐりの美女である。また彼女らは美しいだけでなく、民族舞踊や歌などもたしなむオウバばかりだ。コンテストでは事前の民族衣装での撮影を経て、ステージでは水着、ドレス、パフォーマンスが行われた。

グランプリは雲南省や貴州に分布するペー族(白族)のシャン・イーシンさん。準グランプリも同じくペー族のイエン・ジュエンさん。3 位はチベット、青海省、四川省などに分布するチベット族のダウマイドさんだ。やはり漢民族とは少し面立ちが違うようだ。どことなく神秘的な雰囲気さえ漂ってくる。ステージでの艶やかなドレス姿も素敵だが、やっぱり民族衣装で歌や踊りをする彼女らが最も美しいように感じられる。

<http://rocketnews24.com/2011/11/25/156452/>

**「文化雲南ネット」が開設**

西南部にある雲南省の文化を全面的に紹介するサイト「文化雲南ネット」([www.ynwh.net](http://www.ynwh.net)) が 4 日に開設しました。

このサイトは、雲南省の民族文化、文物や無形文化遺産などに関する約 2 万の情報、それに 3 万枚のピクチャーや時間にして長さ 333 時間もの映像と音響データを収めており、文化に関わる企業や個人、それに消費者などに経営販売、交流と取引サービスを行う場を提供しており、オンラインによる電子商取引サービスを実現しました。

また、このサイトはベトナム語、タイ語、フランス語と英語によるホームページが相次ぎ開設される予定です。(張) [中国国際放送] 2011 年 12 月 5 日

<http://japanese.cri.cn/881/2011/12/05/163s183837.htm> より

## 【動向その他】

地として白老町のポロト湖畔を選定していた。同部会は空間内に慰霊碑や公園のほか、アイヌ民族の歴史や文化を紹介する博物館などの展示施設の設置を検討してきており、博物館のあり方については、同部会の報告書が「国が主体的に整備する」と定めていた。

[北海道新聞] 2011 年 12 月 23 日

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/topic/339534.html> より



気になるメディア・ユーラシア情報 ( は抜粋記事掲載 4 - 7 頁 )

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。(編集部)

**[東ヨーロッパ]** 1 件

前首相の実刑確定 = 禁錮 7 年、政治混乱も - ウクライナ [時事通信 2011/12/23]

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011122300450>

**[北アジア(含むロシア)]**10 件

ユーラシアの経済統合に向けて[Voice Of Russia 2011/12/20] <http://japanese.ruvr.ru/2011/12/20/62560378.html>

ロシア全土に反政府デモ拡大、ソ連崩壊後で最大規模 [ロイター-2011/12/11]

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE7BA00D20111211>

ロシア各地で反プーチンデモ、モスクワでは 5 万人 [AFP 2011/12/11]

[http://www.afpbb.com/article/politics/2845194/8188289?utm\\_source=afpb&utm\\_medium=topics&utm\\_campaign=txt\\_topics](http://www.afpbb.com/article/politics/2845194/8188289?utm_source=afpb&utm_medium=topics&utm_campaign=txt_topics)

ソ連崩壊 20 年 強権で復活、光と影 上野俊彦氏、小松久男氏の話 [毎日新聞 2011/12/19]

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111219ddm010030043000c.html>

中東の民主化運動「アラブの春」はなぜロシアに及ばない? [読売新聞 2011/12/15]

<http://www.yomiuri.co.jp/job/biz/qaworld/20111215-OYT8T00209.htm?from=osusume>

赤の広場で 政治的な医師 [msn 産経 2011/12/28]

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111228/erp11122803160002-n1.htm>

中部及び西部シベリアで地震 [ロシアの声 2011/12/27] <http://japanese.ruvr.ru/2011/12/27/63012256.html>

極寒シベリアに「ハチコー」 死んだ雌犬に 2 週間寄り添い [msn 産経 2011/12/10]

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111210/erp11121009390003-n1.htm>

マンモス復活へ光明 永久凍土で骨髄発見 [中国新聞 2011/12/3] <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Sp201112030089.html>

「日本までのトンネル検討」 = サハリン架橋計画で言及 - ロシア首相 [時事通信 2011/12/16]

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011121600016>

**[西アジア]**10 件

イラン : 英大使館襲撃 指導部の関与否定 民兵組織、襲撃を正当化 [毎日新聞 2011/12/7]

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111207ddm007030132000c.html>

無人偵察機、イランの手に = 国防総省は墜落説を否定 - 米報道 [時事通信 2011/12/6]

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011120600139>

イラン ホルムズ海峡で軍事演習 [NHK News Web 2011/12/25] <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20111225/t10014887371000.html>

核開発疑惑で制裁のイラン、国際社会の「のけ者」に = 米高官 [ロイター-2011/12/6]

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20111225/t10014887371000.html>

イランの核兵器保有を阻止 = イスラエル防衛に決意 - 米大統領 [時事通信 2011/12/17]

<http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011121700115>

仏下院がアルメニア人虐殺否定禁止法案を可決、トルコは猛反発 [CNN 2011/12/23] <http://www.cnn.co.jp/world/30005029.html>

東京大学教授・山内昌之 トルコの新オスマン外交 [msn 産経 2011/12/13]

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111213/erp11121302540002-n1.htm>

露大統領 カスピ海の安全保障合意批准に関する連邦法に署名 [ロシアの声 2011/12/5]

<http://japanese.ruvr.ru/2011/12/05/61577157.html>

イラクがシリア和解決案提示 [msn 産経 2011/12/17] <http://sankei.jp.msn.com/world/news/111217/mds11121723220008-n1.htm>

エジプト議会選第 2 回目の投票、イスラム政党の台頭に注目 [CNN 2011/12/15] <http://www.cnn.co.jp/world/30004931.html>

**[中央アジア]**6 件

ウズベキスタン ; 拘禁施設での拷問 弁護士も弾圧 [ヒューマン・ライツ・ウォッチ 2011/12/13] <http://www.hrw.org/ja/news/2011/12/13>

カザフ石油労働者の暴動死者 15 人に、大統領が非常事態宣言 [ロイター-2011/12/19]

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE7BI01R20111219>

カザフスタン : 暴動の市、非常事態令 西部の石油拠点、死者 70 人情報も [毎日新聞 2011/12/18]

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111218ddm007030127000c.html>

トルクメニスタン : ニヤゾフ大統領死後 5 年 国父の威光、独裁持続 [毎日新聞 2011/12/15]

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111215ddm007030036000c.html>



強姦被害で服役のアフガン女性、恩赦から 2 週間で釈放 [ロイター 2011/12/15]

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPTYE7BE04C20111215>

講演会：キルギス大使が友好を呼びかけ - 渋谷 / 東京 [毎日新聞 2011/12/7]

<http://mainichi.jp/area/tokyo/news/20111207ddk13040223000c.html>

#### [南アジア]4 件

ダライ・ラマ ロシアの仏教徒に呼びかけ 「自身の敵を愛せ」 [ロシアの声 2011/12/22]

<http://japanese.ruvr.ru/2011/12/22/62669851.html>

世界一高地の空港誕生へ = 標高 4 4 3 6 メートル - 中国チベット [時事通信 2011/12/28]

[http://www.jiji.com/jc/c?g=int\\_30&k=2011122800634](http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2011122800634)

インド・バングラに寒波襲来、111 人死亡 [読売新聞 2011/12/20]

2011 年に殺害された記者は 66 人、パキスタンが最多 = R S F [ロイター 2011/12/22]

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPTYE7BL01K20111222>

#### [東南アジア]4 件

フィリピン台風被害で死者 1000 人近く、大統領が国家災害を宣言 [ロイター 2011/12/20]

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPTK804701220111220>

フィリピン水害の死者 1200 人超に さらに降雨の恐れ [CNN 2011/12/27] <http://www.cnn.co.jp/world/30005064.html>

カンボジア、タイが軍部隊撤収で合意 寺院周辺の国境紛争 [CNN 2011/12/22] <http://www.cnn.co.jp/world/30005025.html>

タイ・ミャンマー間 国境の橋活気再び [東京新聞 2011/12/7]

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/world/news/CK2011120702000029.html>

#### [東アジア]12 件

北朝鮮の金正日総書記が 17 日に死去、正恩氏が権力継承へ [朝日新聞 2011/12/19]

<http://www.asahi.com/international/reuters/RTR201112190033.html>

台湾総統選まで 1 カ月 国民、民進ほぼ拮抗 [msn 産経 2011/12/13]

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/111213/chn11121321550009-n1.htm>

河南省で 1 人っ子政策を緩和、中国内陸部すべてで緩和へ [サーチナ 2011/11/28]

[http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1128&f=politics\\_1128\\_003.shtml](http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1128&f=politics_1128_003.shtml)

中国政府「中国農村の 3 億人が安全な水を飲めない」[サーチナ 2011/12/07]

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20111207-00000006-scn-cn>

中国がトルクメニスタン産天然ガス輸入を拡大、逆ざや解消が急務 [サーチナ 2011/11/29]

[http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1129&f=business\\_1129\\_171.shtml](http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1129&f=business_1129_171.shtml)

新疆で大型炭鉱発見、中国の 10 年分の石炭需要満たす埋蔵量 [サーチナ 2011/12/21]

[http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1221&f=business\\_1221\\_054.shtml](http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=1221&f=business_1221_054.shtml)

成都の学生 3000 人が衝突 100 人けが [毎日新聞 2011/12/16]

<http://mainichi.jp/select/world/news/20111217k0000m030056000c.html>

エキゾチック美女勢ぞろい！ 中国で「ミス少数民族」開催 [ロケットニュース 24 2011/11/25]

<http://rocketnews24.com/2011/11/25/156452/>

「文化雲南ネット」[www.ynwh.net](http://www.ynwh.net) が開設 [中国国際放送 2011/12/5] <http://japanese.cri.cn/881/2011/12/05/163s183837.htm>

五胡十六国時代の古墳から保存状態完璧な陶俑が出土 陝西省西安市 [レコードチャイナ 2011/12/2]

<http://www.recordchina.co.jp/group.php?groupid=56549&type=1>

モンゴル族のゲノム解読 = チンギスハンの子孫から - 中国 [時事通信 2011/12/18] <http://www.jiji.com/jc/zc?k=201112/2011121800196>

“氷河”を使った温暖化対策、モンゴル [ナショナルジオグラフィック 2011/12/8]

[http://www.nationalgeographic.co.jp/news/news\\_article.php?file\\_id=20111208001&expand&source=gnews](http://www.nationalgeographic.co.jp/news/news_article.php?file_id=20111208001&expand&source=gnews)

#### [動向その他]3 件

マルコ・ポーロの足跡「東方見聞録」掛川・影山さんが旅行記を出版 [中日新聞 2011/12/19]

<http://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/20111219/CK2011121902000115.html>

米山悦朗写真展「風に吹かれて - モンゴルの草原から - 」(ニコンサロン bis 新宿) [デジカメ Watch 2011/12/22]

[http://dc.watch.impress.co.jp/docs/news/20111222\\_501182.html](http://dc.watch.impress.co.jp/docs/news/20111222_501182.html)

白老に国立博物館 アイヌ民族 共生の象徴に [北海道新聞 2011/12/23] <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/topic/339534.html>

## 【浦川治造さんを紹介する映画「カムイと生きる」完成試写会開催】

ユーラシアンクラブ発足以来の仲間である東京アイヌ協会名誉会長浦川治造さん（ユーラシアンクラブ副理事長）を紹介する映画「カムイと生きる」がやっと完成しました。たくさんの人の寄付と応援で完成したもので、12月25日、千葉県君津市にある諸民族交流施設「カムイミントラ」に浦川さんを応援する約100人が集まり、2時間に及ぶ映画を鑑賞し、拍手を送っていました。映画を製作したのは株式会社サイクロイド。今春には全国で順次ロードショーの予定です。ぜひご覧下さい。映画の内容は、北海道浦河町出身のアイヌ浦川治造を



通して自然と人間の共存を考えるメッセージが込められており、浦川治造の甥でもある、俳優宇梶剛士がナレーションを務めています。大野モコメンターのような形で出演しているほか、宮崎県門川町で、友人の河野真一さんと取り組んだ丸木舟づくりや、イーグル・アフガン復興協会の江藤セデカさん、仲間の成宮勇さんと一緒に出かけた宮城県南三陸町での炊き出しの様子も映画に取り入れられており、真摯で、飾らない浦川治造が良く描かれています。予告編はユーチューブにアップされています。



撮影・杉原美智子

>[http://www.youtube.com/watch?v=qv\\_NnrJOCrg](http://www.youtube.com/watch?v=qv_NnrJOCrg)

## 宮崎県門川町の河野真一さん 仲間と一緒に森林復活に着手

長年地域の子どもの育成や地域劇団の支援、文化会館の改革に取り組んできたクラブの仲間 河野真一さんが地域の森の再生に乗り出しました。自然林が杉林に変貌、荒れ果てた森を、40年以上前の記憶に残る子どもの森に再生させようというもので、森林所有者、仲間の理解と力を集めてスタート。杉の人工林から共生の森にする計画で、強力な花粉症の私としては大賛成。成功を祈ります。

河野さんは、私と一緒にアムール流域の先住民ナナイの民族村シカチアリヤンを訪ね、中央アジアのキルギスやウズベキスタンでの文化イベントに参加してくれた友人ですが、特に子どものころからアイヌの文化に興味を持っており、門川町に浦川治造さんを招き、子どもたちに話を聞いてもらったり、丸木舟を子どもと一緒に作ったり、地域の公民館でアイヌ文化のワークショップを実施。アイヌの精神文化を子どもたちに伝える努力をしてきました。町の中心を流れる五十鈴川が山と海をつなぐ循環する自然の中で重要な意味を持っていることを伝えることが大事だという考えからでした。浦川さんの自然との共生のメッセージを受け止めて、映画製作に寄付を行ったり、昨年末完成したばかりの映画「カムイと生きる」を2月19日、門川町総合文化会館で、浦川治造さんの講演と合わせて上映することを決定しています。

ふるさとの森再生は、山と川そして海という人類が再考を迫られている循環する自然の象徴として、地域の心の杜として受け入れられると思います。

河野さんからはいろいろ教えてもらうことが多く、この活動も含め今後の愛川町での活動の参考とさせていただきたいと考えています。



平成23年12月 森林便り 第1号

窓ヶ原方面 竹名方面

伐採の時期を迎えた水守守幸さん所有の杉山（左）と隣接する長友幸雄さん所有の天然林（右）  
樹齢40年を超える杉山が消える！  
「桃山」と呼ばれていた竹名入口の山頂の湧水で喉を潤した記憶も今は昔。その山の湧水も乏しく、今では樹齢40年を超える杉林に覆われている。伐採の時期を迎えた杉山を見上げる人の中には、風倒木や地形の変化による山崩れを心配する声もある。その杉林を伐採して跡地に新たに「ふれあいの森林づくり」を始めようと、山主を中心に20名程度の仲間が集まった。例年になく豪雨に見舞われた今年の夏そして秋、彼等はそれぞれに草刈り機やチェーンソーを持ち寄り、下刈り、風倒木や雑木の伐採など慣れない作業に、毎月第1土曜日の早朝から昼過ぎまで、雷の音を聞き手弁当で「ハゼにも負けず」…そして、和気あいあいと作業に励んでいる。10、11月の突貫工事で作業用道路もほぼ完成した。



強風で倒された杉、松 山頂の湧き水場 風倒木、雑木の伐採

山は生まれ変わるか？  
落石や山崩れを心配する地域の声に応えるためにも、幼い頃の思い出の中にある里山の再生をめざして、「かどがわ一本松来楽部」による「ふれあいの森林づくり」がはじまる。



下刈り ハゼの木地埋 作業道路づくり

※「ふれあいの森林づくり」は、森林環境税を活用した宮崎県の「みやざきの森林づくり支援事業」の助成を受けています。

## 【追悼】作曲家 三木稔さん逝去

東西音楽の融合を生涯のテーマとしながら、「愛のコリーダ」から日本史に題材をとったオペラ9連作まで、膨大で幅広い作曲活動、「日本音楽集団」「アジア オーケストラ」「オーラJ」「結アンサンブル」「アジア アンサンブル」の結成、八ヶ岳「北村国際音楽祭」の立ち上げなど音楽芸術監督としての創造的活動で多くの成果を挙げ、日本だけでなくヨーロッパや中国等内外で高い評価を得てきた三木稔さんが逝去された。享年81歳でした。



三木先生と出会ったのは、私が文化庁から全国公文協へ委託された芸術情報プラザのトータルアドバイザーをしていた2002年頃。西洋クラシック音楽の世界からアジアの音楽との架け橋として内外で活躍される三木先生に日本とアジア、西洋と東洋の音楽の融合について、全国文化行政担当職員、文化会館運営担当者の研修会（アートマネジメント研修会）で講演を依頼したのがきっかけである。気さくで飾らない、正義感と行動力に魅力を感じ、特に西洋クラシック音楽界の中におられながら、伊福部昭を師としアジアにこだわってきた三木先生がアジア・アンサンブルを立ち上げたこと知り、「アジア発の音楽創造にこだわってきた三木稔さんの先駆的業績を再評価し、日本の音楽界はもう一度アジア・シルクロードの音楽を視野に入れた文化変容を視野に入れてもいいのではないか」（芸術情報プラザ情報誌アートエクスプレス18号 / 日本の音楽につながる音の回廊）との考えで、三木稔先生に「アジア・シルクロード音楽祭」を一緒に開催することを提案した。私が出会ったときにはすでに前立腺がんの治療中で、自らの病の進行状況を熟知しながらの活動であったが、多くのファンから慕われる率直な人間性に触れながら東京、愛知、宮崎、福島で数年間開催したほか、ロシア連邦ノヴォシビルスク市で開催したロシアにおける日本年記念事業にも主催者代表として参加をお願いした経緯がある。先生はその後独力で「東西音楽交流の聖地創りを目指す」として八ヶ岳「北杜国際音楽祭」を立ち上げられた。北杜国際音楽祭では、アジアの優れたミュージシャンの紹介等やさやかなお手伝いできたことを誇りに思っている。私が現在「アジア・シルクロード音楽フェスティバル組織委員長」と称している肩書きは三木稔先生からいただいたものである。三木先生はユーラシアンクラブの芸術顧問でもあった。今年もウズベキスタンで「アジア・シルクロード音楽フェスティバル」を開催するが、三木先生とは道筋は異なるが、私なりに「アジア発の音楽創造」の努力を続けたいと思っている。

三木先生は、一昨年5回の手術にもかかわらず、膨大な仕事をこなし続け、亡くなる前日もいつもどおり、最後まで自分の足で歩き、階段の昇り降りを繰り返しながら笑顔で穏やかな毎日を過ごしていたという。作曲家として最後の仕事として「レクイエム」の完成を自らに課して努力されていた。三木先生の最後の思い、決意というべき文章が「2011.6」としてホームページに残されていた。この中で「私」を「彼」と記すなど、自らの命運を覚悟しての記述と思われる表現もみられ、背筋の伸びる思いで読んだ。最後にご紹介して、三木先生のご冥福を祈ります。合掌。（大野遼）

・・・昨年までのHPで、37年を要して『三木稔、日本史オペラ9連作』《春琴抄》、《あだ》、《じょうり》、《ワカヒメ》、《静と義経》、組オペラ《隅田川+くさびら》、《源氏物語》、《愛怨》、《幸せのバゴダ》が完成したことは報告済みである。

今年のHPで、作曲家として一番伝えたいのは、かつて東京リーダーターフェルという男声合唱団が、木管・金管（部分4管）・打楽器・バリトンソロ・6人のコントラバスという特殊な編成で1963年に初演し、私の初期の出世作となった、南太平洋マンガイヤ島に三百年程前から伝わる、その島の王子の死を悼む自然発生的な詩の日本語訳を基にして作曲中の、木管（2管）・金管（部分4管）・3打楽器・ソプラノソロ・バリトンソロ・混声合唱・フルオケ規模の弦（オリジナルのコントラバス6人を含む）という41分・6楽章を持つ巨大な《レクイエム》を日夜休むことなく作曲中（オーケストレーション）中という報告である。

1945年8月、戦時中の教育に忠実に海軍兵学校予科で終戦を迎え、すでに戦後の人材育成に向かっていた針尾（7月防府に疎開）の同校で、連日の空襲下1200人が集団赤痢に侵され、薬一つない最悪の状態、私の周辺でも両隣が次々に死亡した。15歳の私は、8月に帰郷後、南太平洋マンガイヤ島の王子が数百年前に逝った時、人々の間で自然発生的に生まれた不思議な詩の日本語訳を、神田の古書店で見出してから、レクイエムの題材として暖め続けていたが、今回この大編成版を（私/大野挿入）の最終遺作として残したいと日夜完成を期して努力を重ねている。

心ならずも罪をかぶらざるを得なかった先の太平洋戦争のあまねく先輩犠牲者へに（原文通り）代わって、作曲家として衷心から表明すべき鎮魂の曲として、どうしても書き上げておかなければならない作品と言わざるを得ない。

しかし、この作品を、前立腺がん末期状況に置かれ、転移進行中の情報もある私が、年内または来年半ば頃までに完成させられるか否かは、極めて不明確であることをHP上でお知らせせねばならないことが残念でたまらない。

作曲とは別に、6つの演奏団体を創立してきた私が、その表現の場として、オペラ《愛怨》が完成した2005年に、日本の中央高原とも言うべき標高1000メートルの地に、その活動の集大成として『北杜国際音楽祭(HIMF)』のスタートを決意、第5回に当たる今年を最後に、創始者として極めて残念ながら、担当プロデューサーは終結の決意を表明している。

今後、『北杜国際音楽祭(HIMF)』創始者の私としては、別の形でこの音楽祭が（大きく地域をも移動させる手段を含み）再現される日を祈りたいと強く思う。

私が作曲だけでなく、それぞれの創立に関与した6つの演奏団体や、その集大成として2006年に創始した『北杜国際音楽祭(HIMF)』や、他の情報はそれぞれの団体のHP・広報に任せ、この遺作情報には含めない。

私が、『三木稔、日本史オペラ9連作』を完成させた後、2010年6月、ハイデルベルク劇場におけるそのドイツ初演を欧米への最後の旅と考え、12月韓国に足を運んだ以外、海外には赴けなかった。今は1963年のヴァージョンでなく、2管の木管・4管の金管・3人の打楽器・ソプラノ&バリトンのソロ、混声合唱・弦5部(14+12+10+8+6)という巨大なオーケストラのための6楽章・41分の新作《レクイエム》で、超多忙の中、今年3月より、日夜オーケストレーションに励んでいる。完成はおそらく年を越し、2012年半ばとなろう。これは三木稔の人生で、これ以上はなにも作曲をしない、という強い決意を表明した遺作であり、現在まだ第2楽章を作曲中の作曲者は、不足する作曲時間を憂慮している。

初演は、没後2年程度後に彼の『3つのレクイエム』コンサートでなされることを望んでおり、それらは次の曲順で行ってほしい。

第1部冒頭には、彼が1989年、中国作曲界と民族音楽界の期待を背負って、大コンクールの唯一の外国人審査員として北京滞在中、あの天安門事件に遭遇、目撃者として、他の審査委員たちから『レクイエム』の作曲を懇望された経緯によって、『北京禱歌Beijing Requiem』が置かれる。



第 1 部の終わりは、続いて、私が創立したプロフェッショナルな邦楽器アンサンブルが合同して『コンチェルト・レクイエム Concerto Requiem』を演奏し、最終第 2 部の大トリには作曲中の巨大『レクイエム』が置かれ、その初演がなされる予定となっている。第 2 部

の、その直前には、《琵琶協奏曲 Pipa Concerto》など、私の作品の紹介者として活躍してきた、現在スイス在住の楊静 (Yang Jing) が来日し、オペラ第 8 作《愛怨 Ai-En》中のレクイエムの風格に溢れた琵琶秘曲《愛怨》をソロし、日本語の巨大レクイエムに繋ぐ構想である。

**柵野正士・元芸団協専務理事の話** 日本が誇るべき世界的大作作曲家三木稔さんがなくなり、いつかこの日が来るのではと怖れていましたが本当に残念です。L A I T セミナーで講演をしてもらおうと何年も前に考え、ご健康状態を見ていましたが、ついに果たせませんでした。日本政府や国立劇場はもっと三木先生を大事にすべきでした。多分今後 20 年、30 年経ってオペラ作曲家三木稔の名前は輝いてくると思います。

### 50 歳を迎えたゲルマン・ハトラエフさん オペラ・バレエ劇場で誕生祝コンサート



小中学生の子どもたちを引率し、愛川町で和太鼓の研修を受けたゲルマン・ハトラエフさん (サハ共和国の伝統音楽家) が昨年暮れ、50 歳の誕生日に、音楽ファンや友人、政府関係者がホールに集まりコンサートを開きました。

コンサートではハトラエフ夫妻の演奏のほか、日本で研修を受けたテティムの子どもたちも成長した演奏を披露し、誕生日を祝いました。

私 (大野 遼) も「子どもたちに未来を託す気持ち、家族や地域の人々、国家、民族、宗教を超えた人類の絆を強め、伝統文化という大輪の花を咲かせる」とお祝いのメッセージを送りました。

誕生祝コンサート 50 歳を迎えたゲルマンさん (右) とクラウディア夫人 (左)



発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：大野 遼  
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343  
支部愛川サライ〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314 - 1  
TEL/FAX：046-285-4895 E-MAIL：[paf02266@nifty.ne.jp](mailto:paf02266@nifty.ne.jp)  
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行 0一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ サポート  
会費、ご寄付はこちらへ。会費は年間一口 6,000 円、一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.cocolog-nifty.com/>

2012 0101 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：三木先生の訃報でまた時が進んだ。新年早々の悲しいお知らせだが、三木先生も含め、力強く命と向き合って生きるのが人間だ。私も心して全うすることにしたい。私は今まで、私も含めた人間の持つ本性への疑問やこれまでの経験から積極的仲間づくりを躊躇してきた。今年から仲間づくりを積極的に進めることにしたい。二年前、「二年後には役員を交代したい」と発言しつつ最近までそのつもりであったが、私がいいた種の後始末を残したまま引き継ぐことはできないこと、整理するべきは整理した上で、土台や土俵を準備しないといけない。言を左右にするようで気も引けるが、加藤先生は 90 歳。今年もカラテバ遺跡を発掘するというので私も真似てみたい。(お)